

会社説明会

～個人投資家さま向け～

目次

1. 「イオンクレジットサービス」について
2. クレジットカード業界について
3. 金融事業の取り組み
4. 海外事業の展開
5. 環境保全・社会貢献活動の推進
6. 株主さまへの利益還元

イオンクレジットサービスについて

会社概要

商号	イオンクレジットサービス株式会社	
上場市場	東京証券取引所市場第一部(8570)	
決算期	毎年2月20日	
資本金	154億6,650万円(イオングループ持株比率 50.3%)	
代表者	会長 森 美樹 社長 神谷 和秀	
沿革	1981年	日本クレジットサービス株式会社として会社設立
	1994年	イオンクレジットサービスに社名変更、株式店頭公開
	1995年	香港現地法人が香港証券取引所へ株式上場
	1996年	東京証券取引所市場第二部へ上場
	1998年	東京証券取引所市場第一部へ上場
	2001年	タイ現地法人がタイ証券取引所へ株式上場
	2007年	マレーシア現地法人がマレーシア証券取引所へ株式上場

当社の事業展開

 イオンクレジットサービス株式会社

イオンの総合金融事業を担い、国内外で金融サービスを展開

<イオンの事業>

G M S 事業	S M 事業	戦略的小型店事業	ドラッグ事業
専門店事業	ディベロッパー事業	サービス事業	ノンストア事業
海外事業	中国事業	総合金融事業	

<イオンクレジットサービスの事業と展開地域>

- クレジットカード事業
- 電子マネー事業
- 銀行代理業
- 保険代理店事業
- サービス事業
- 信用保証事業



当社の営業フィールド

 イオンクレジットサービス株式会社

全国に広がるグループの店舗網を活用し、独占的に会員募集を展開



イオンカードのご紹介

 イオンクレジットサービス株式会社



<イオンカード>

入会金・年会費無料

- 特典 1** ジャスコやサティ・ビブレでのお買物がとってもお得
「毎月20・30日は5%割引」
- 特典 2** カードのご利用額に応じて商品と交換できるポイント
「ときめきポイント」
- 特典 3** カードで買ったものがこわれても安心
「ショッピングセーフティ保険」

代表的な提携カードのご紹介

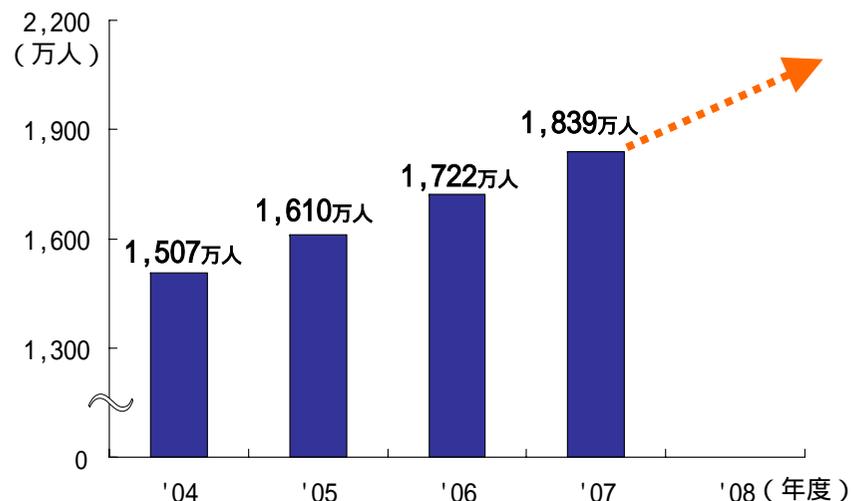
 イオンクレジットサービス株式会社

グループの店舗網に加え、友好企業や提携先での会員募集も展開



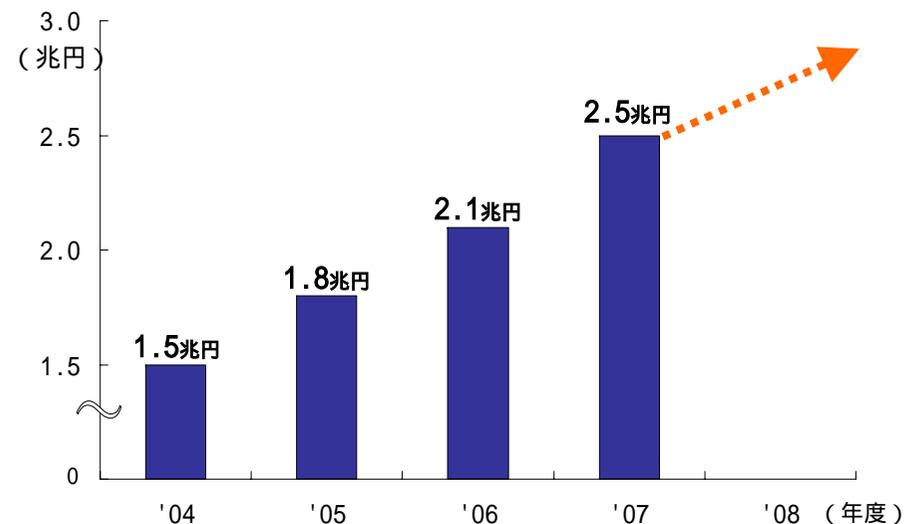
連結有効会員数の推移

会員数は国内外で1,839万人



連結カード取扱高推移

会員数や利用回数、利用金額の増加により高い伸びを継続



業界でのポジション

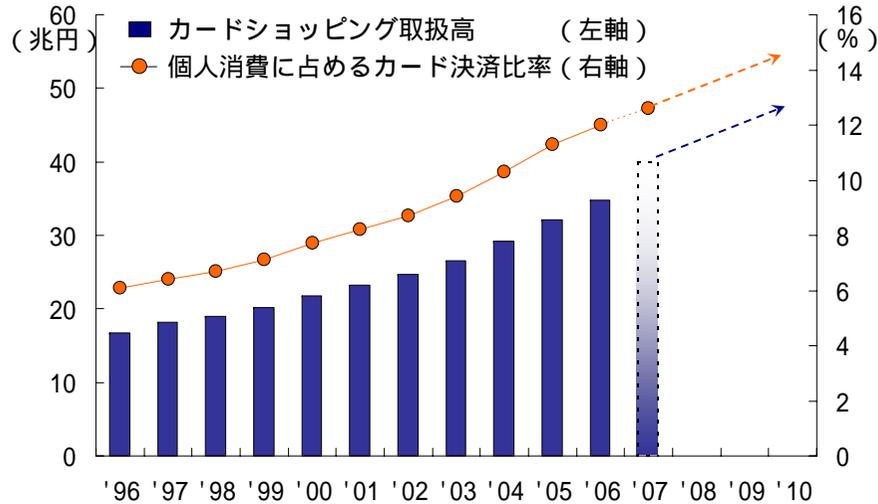
2002年度 取扱高ランキング		2007年度 取扱高ランキング	
順位	会社名	順位	会社名
1位	JCBグループ	1位	三井住友グループ
2位	三井住友グループ	2位	三菱UFJニコス
3位	ニコスグループ	3位	JCBグループ
4位	UCカードグループ	4位	クレディセゾングループ
5位	クレディセゾン	5位	イオンクレジットサービス
6位	DCカード	6位	JALカード
7位	三菱UFJカード	7位	オーエムシーカード
8位	オーエムシーカード	8位	トヨタファイナンス
9位	イオンクレジットサービス	9位	オリエントコーポレーション
10位	オリエントコーポレーション	10位	ジャックス

出所：月間消費者信用および各社公表数値より当社算出

クレジットカード業界について

クレジットカード市場の拡大

クレジットカード市場は、10年で2倍の約35兆円に拡大



出所：日本クレジット産業協会「日本の消費者信用統計」より

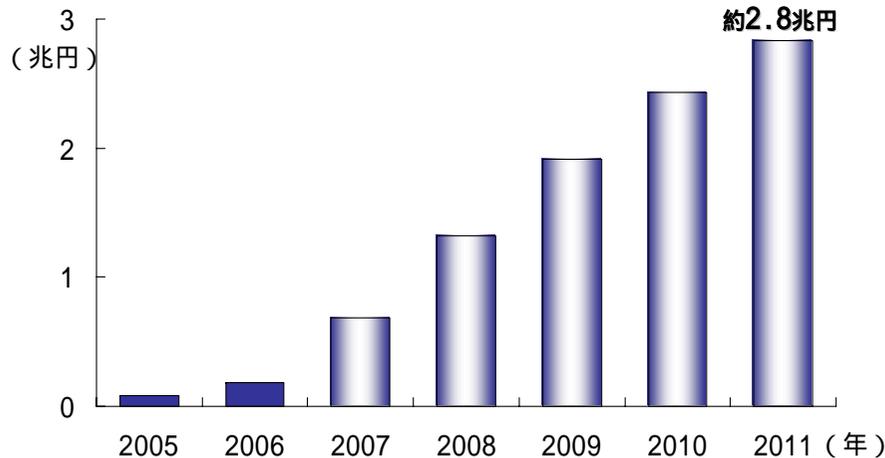
日常に広がるクレジット決済

様々な分野でクレジットカードの利用場面が拡大



急成長する電子マネー市場

2005年の約800億円から、
2011年には2兆8,000億円まで伸びると予測



出所：(株)野村総合研究所推計資料

金融事業の取り組み

<クレジット事業>

業界を代表する企業との提携



<東日本旅客鉄道(株)>



イオンSuicaカード

特長 電子マネーSuica機能付帯
イオンカードの特典に加え、電子マネー機能により電車やバスがカード1枚でスムーズに乗車できます。

<(株)日本航空>



イオンJMBカード

特長 お買い物でマイルがたまる
イオンカードの特典に加え、お買い物のご利用額に応じてJALのマイルがたまります！

<クレジット事業>

業界を代表する企業との提携



<コスモ石油(株)>



コスモ・ザ・カード・オーパス

特長 ガソリン・灯油が会員価格に
ご入会特典として、ご利用の燃料油50Lまで1Lにつき10円をご請求時にキャッシュバック！

<近畿日本ツーリスト(株)>



KNTカード

特長 ときめきポイントが3倍
ツアー、ご宿泊料金のお支払いで、「ときめきポイント」が通常の3倍たまります！

<クレジット事業>

カード特典の強化



イオンお客さま感謝デー



ときめきポイント2倍



パースデーパスポート券



ときめきポイントクラブ



ときめきポイント



リボときめき5倍デー

<クレジット事業>

イオンゴールドカードの推進



<イオンゴールドカード>

年会費無料
ゴールドカード会員さまだけのお得な特典が満載！

特典1

お買物の合間にごゆっくりとおくつろぎいただける、「イオンラウンジ」がご利用いただけます。

特典2

ご旅行前の待ち時間に羽田空港の、「空港ラウンジ」がご利用いただけます。

特典3

国内外のご旅行に安心をプラスする、「旅行傷害保険」が無料付帯しております。

イオンゴールドカードはカードのご利用が一定額(弊社基準)のお客さまを対象に発行しております。

<電子マネー事業>

独自電子マネー「WAON」

イオンクレジットサービス株式会社

特長1 年会費無料

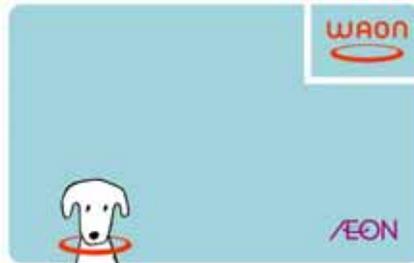
WAONは年会費無料です

特長2 割引特典

お客さま感謝デー5%割引

特長3 WAONポイント

お買い上げ金額200円毎に1ポイント(1円相当)付与します



<電子マネー事業>

電子マネーの利用場面

イオンクレジットサービス株式会社



<電子マネー事業>

共用読取端末の展開

イオンクレジットサービス株式会社



<ご利用可能な電子マネー>

WAON

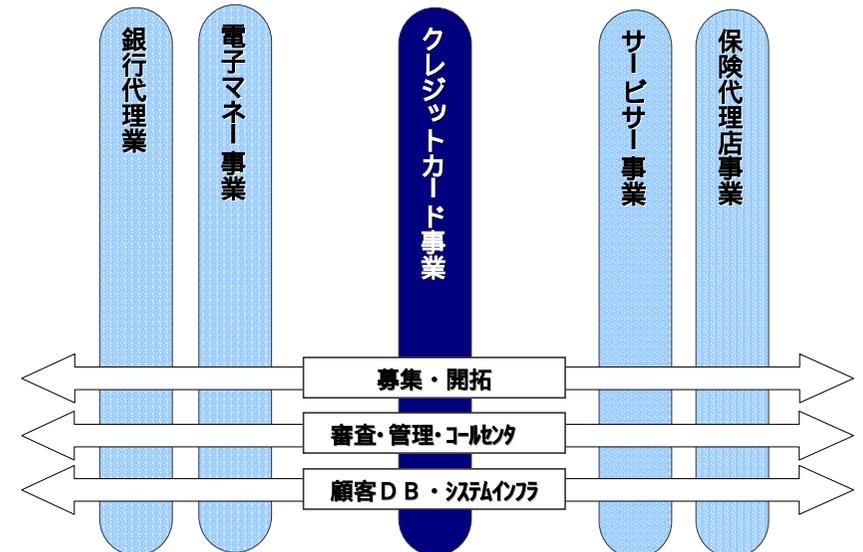


ICOCA

PASMO

クレジット事業からの展開

イオンクレジットサービス株式会社



<クレジット周辺事業>
保険代理店事業

 イオンクレジットサービス株式会社

お客さまのニーズに応える保険商品の販売代行業務を展開



<クレジット周辺事業>
サービサー事業

 イオンクレジットサービス株式会社

小口分野での回収業務受託を中心に事業を展開



(ご参考)イオン銀行

 イオンクレジットサービス株式会社

イオングループならではの、お客さまの生活に密着した銀行を開業



<クレジット周辺事業>
銀行代理業

 イオンクレジットサービス株式会社

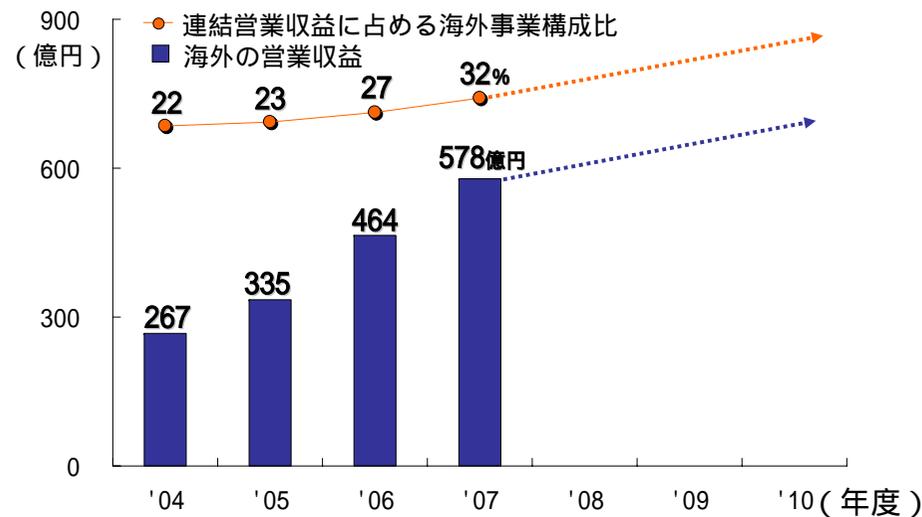
イオン銀行の口座開設受付業務を開始



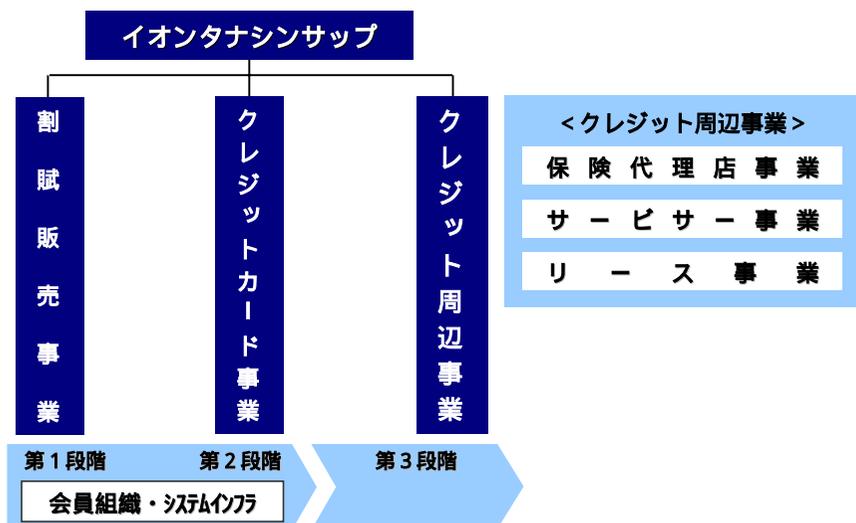
海外事業の展開

海外事業の業績推移

連結営業収益に占める海外事業構成比は32%に向上



タイのビジネスモデル



タイ

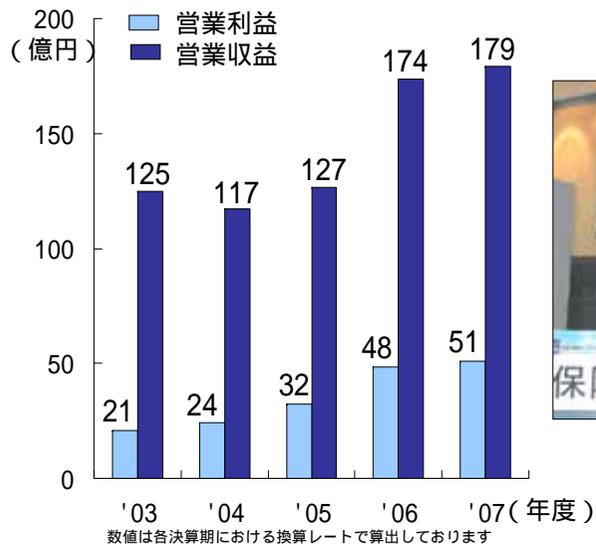
クレジット周辺事業の展開を強化



数値は各決算期における換算レートで算出しております

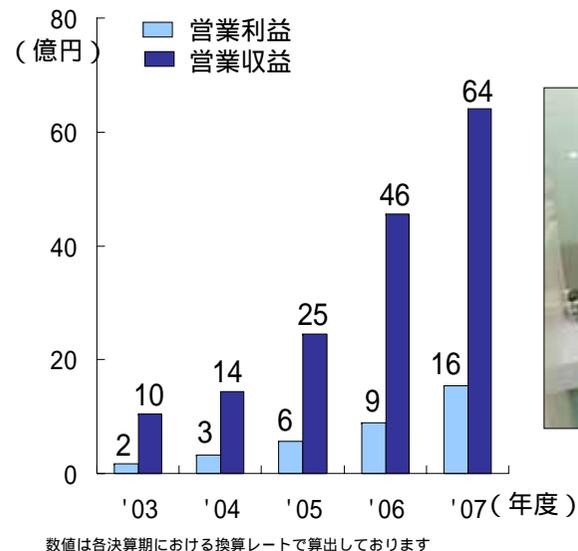
香港

経済停滞などの影響を乗り越え、再成長軌道へ



マレーシア

昨年、現地証券取引所へ株式上場



台湾



インドネシア



ベトナム・フィリピン

 イオンクレジットサービス株式会社



中国

 イオンクレジットサービス株式会社



2009年2月期業績予想

 イオンクレジットサービス株式会社

	連結		単独	
	予想	前期比	予想	前期比
取扱高	3兆1,100億円	113%	2兆7,600億円	114%
営業収益	1,858億円	103%	1,255億円	103%
営業利益	330億円	100%	200億円	102%
経常利益	331億円	100%	223億円	100%
当期純利益	157億円	89%	137億円	97%

環境保全活動・社会貢献活動の推進

 イオンクレジットサービス株式会社

環境保全活動の取り組み

 イオンクレジットサービス株式会社

< 2012年度CO₂削減目標 >

2006年度比 **30%削減**

< 環境保全・社会貢献カードの発行 >



緑の募金イオンカード



日本点字図書館カード

社会福祉施設での活動

 イオンクレジットサービス株式会社



松山：つばさ作業所

学校建設支援活動

 イオンクレジットサービス株式会社



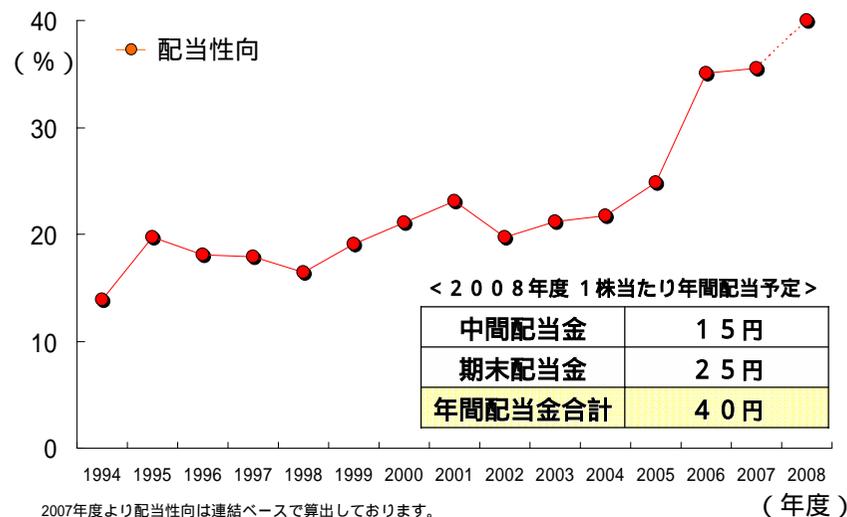
ラオス：イオンさくらスクール

株主さまへの利益還元

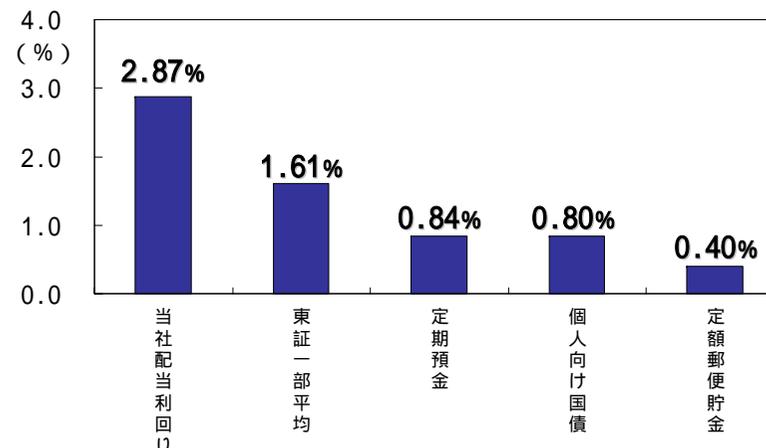
 イオンクレジットサービス株式会社

配当性向の推移

2008年度の配当性向は約40%の見込み



配当利回りの状況



当社配当利回り : 2008年7月25日終値で算出
 東証一部平均 : 2008年7月25日付け日本経済新聞掲載数値より抜粋
 定期預金 : 預け入れ期間10年間・300万円未満の平均年利率(2008年7月16日 日銀発表資料)
 個人向け国債 : 個人向け国債 変動10年(第23回)「初回利子適用率」
 定額郵便貯金 : 3年以上預け入れ期間適用利率(2008年7月郵政公社報道発表資料)

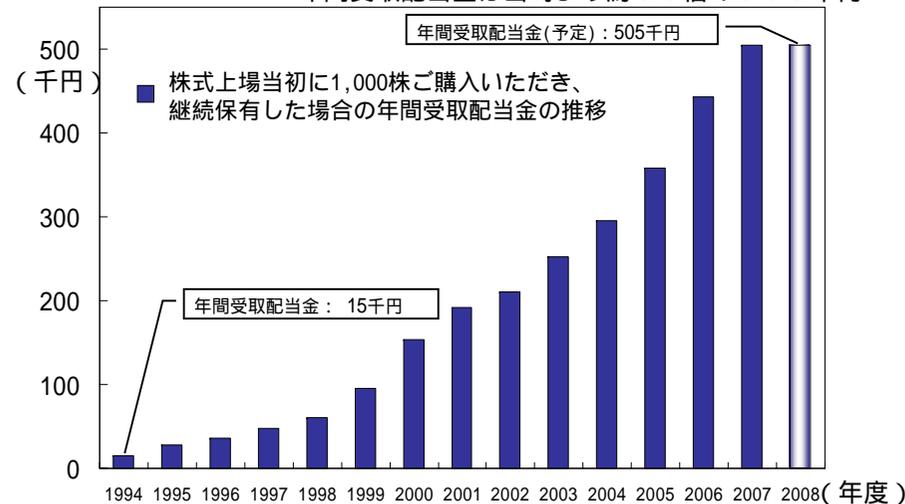
発行済株式数の推移

これまでに合計8回の株式分割を実施



年間受取配当金の推移

株式上市当初より、継続保有していただいた場合
 年間受取配当金は当時より約3.0倍の505千円



事業等のリスク

以下に記載する事項は、当社グループの事業に関して、リスク要因となり、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性があると考えられる事項であります。なお、以下に記載する事項は、将来に関するものが含まれておりますが、現時点において判断したものであり、当社グループの事業に関するすべてのリスクを網羅的に記述するものではありません。

事業等のリスク	想定される影響等
経済環境に関する影響について	貸倒損失の発生、為替変動の影響等
競争環境に関する影響について	事業、財務状況への悪影響等
法的規制等に関する影響について	適用金利低下、利息返還損失金の発生等
個人情報漏洩等に関する影響について	個人情報保護法による罰則処分等
調達金利の変動等の影響について	借入条件の悪化等
システム運用等に関する影響について	事務処理への支障等
海外事業等に関する影響について	展開地域の業績悪化等
主要な提携先等における会員募集に関する影響について	新規会員獲得や取扱高への影響等
内部統制に関する法令遵守について	人的要因、事業環境の変化による影響

AEON CREDIT SERVICE CO.,LTD.

本資料のうち、当社の将来的な経営戦略や営業方針、業績予測等にかかわるものは、いずれも現時点において当社が把握している情報に基づいて想定、算出されたものであり、経済動向、業界での激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実な要素を含んでおります。従って、将来、実際に公表される業績等はこれらの種々の要素によって変動する可能性があります。